**RBSS　2018**

RBSS基準（優良防犯機器認定基準）

RBSS 0002-10防犯カメラ認定基準 技術報告書 作成要領書

2008年（平成20年）10月 6日　発行

2011年（平成23年） 5月15日　改訂

2011年（平成23年） 8月12日　改訂

2011年（平成23年）12月 7日　改訂

2012年（平成24年） 2月15日　改訂

2012年（平成24年） 8月 1日　改訂

2012年（平成24年）12月11日　改訂

2013年（平成25年）12月27日　改訂

2018年（平成30年）10月 9日　改正

2019年（令和 元年）12月 9日　改正

2020年（令和 2年） 4月 17日　改正

2023年（令和 5年） 9月　1日　改正

2024年（令和 6年） 4月　1日　改正

**【技術報告書作成のための共通事項】**

機器認定のための技術報告書は、下記の内容に基づいて作成してください。

(1)　次ページからの「共通的な項目1章～7章（下記の5章は除く）」については、本作成要領書を使用して、朱記等の補足説明箇所は削除した技術報告書を提出してください。

(2)　5章に係る項目：「防犯カメラ認定基準 別冊」の技術報告書 様式（専用の様式）を使用して提出してください。

(3)　申請タイプが【NTSC対応】、【IP-IF対応】、【HD-SDI対応】、【アナログHD対応】の場合、技術報告書 様式は、【NTSC対応】、【IP-IF対応】、【HD-SDI対応】、【アナログHD対応】いずれかの専用の様式で提出してください。

(4)　申請タイプが「ハイブリッド」の場合、技術報告書 様式は、申請する全てのタイプの提出が必要です。各グループが判り易いように仕切りを入れて提出してください。

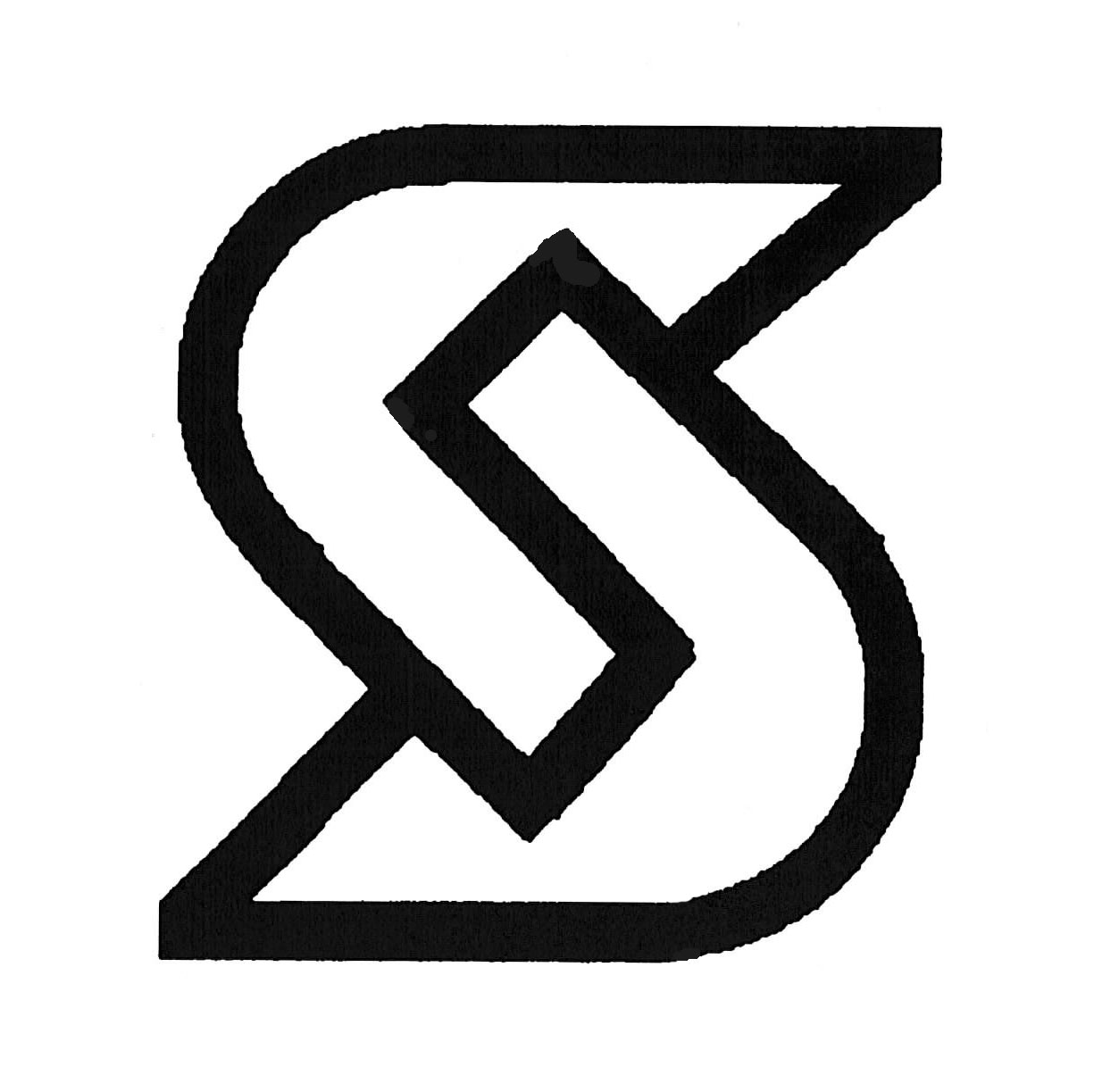
(5)　5章の技術報告書については、7.3項の後にまとめて配置してください（5章の表紙は、様式にある各タイプの資料確認表を付けること）。

(6)　5章の各機能項目の技術報告書は、資料確認表の次頁に続けて各項目を片面コピー原則として提出してください。

(7)　5章について技術解説資料による補足説明が必要な場合、あるいは「変更申請」の変更前・変更後の説明として、本書の後半にある技術解説資料を参考にしてください。

(8)　技術報告書 様式において、申請機器の機能名称がRBSS基準「機能名称」と異なる場合は、同一機能であることの補足説明をしてください。また機能名称の該当箇所が参照しやすい様に、取扱説明書の頁番号やカタログの該当箇所などを記述してください。

（例）ホワイトバランスの「AWB」機能は、RBSS基準｢ワンプッシュ型｣と同一機能です。



**ＪＳＳＡ**

公益社団法人　日本防犯設備協会

優良防犯機器認定制度基準

**RBSS 2018**

申請書類（機器）ファイル作成要領書

**申請書類のファイル形式について**

【ファイル数】　正本1冊（押印欄に朱印があるもの）、副本1冊（写し）

【ファイル形式】・A4縦（目次のインデックスを付与すること）

・ファイル種類：背表紙は厚紙とする（不必要に厚くしないこと）

申請書

技術報告書総括表

技術報告書

取扱説明書

申請書

技術報告書総括表

技術報告書

取扱説明書



**正本**

**副本**

総合カタログ（ある場合）

CD-R

・画像評価データ

・光度値データ（IES形式）

あるいは副本

あるいは副本

【表紙】 下記の項目等を記載すること　　　　　　　　　　　　　　　　　【背表紙】

**優良防犯機器認定制度**

**（機器）申請書**

正本

**優良防犯機器認定制度(機器)申請書一式**

申請者：＊＊＊＊株式会社

機器品目：防犯カメラ

型式：ABC-DEF001

（シリーズ申請の場合は＊＊＊シリーズと記述）

正本

あるいは

・デジタルレコーダ（防犯用）

・LED防犯灯

**品 目**

**防犯カメラ**

**型式**

ABC-DEF001

シリーズ型式

（なし）

**申請者**

□□株式会社

**申請日付**

xxxx年x月x日

RBSS（優良防犯機器認定基準）技術報告書 総括表

**RBSS　2018**

　　　　年　　月　　日

RBSS基準『防犯カメラ認定基準』に基づき、申請区分と機能を下記の通り申請します。

【申請区分】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1 | 申請区分 | **□：**新規、　　　**□：**シリーズ、　　**□：**変更、　**□：**更新 |
| 2 | 機器品目 | 防犯カメラ |
| 3 | 機種名（品名） | *（本総括表は、一型式一枚として作成すること。）* |
| 4 | 型式　（品番） | （シリーズ型式は、次ページ以降に本様式で記述すること） |
| 5 | 申請タイプ（種類） | **□**NTSC対応　**□**IP-IF対応　**□**HD-SDI対応　**□**アナログHD対応  *（ハイブリッドの場合は、複数をチェックすること。）* |
| 6 | 組合せ構成機器 | **□：**なし、**□：**有り（詳細は、技術報告書3.2組合せ構成機器による） |
| 7 | 組合せ電源構成機器 | **□：**なし、**□：**有り（詳細は、技術報告書3.2組合せ構成機器による） |
| 8 | 組合せ構成部品 | **□：**なし、**□：**有り（詳細は、技術報告書3.2組合せ構成機器による）  *（付属品は対象外である。（例）電源重畳機能の専用電源ケーブル等は記載不要。）* |
|  | 備考 |  |

【機能の選択】

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 申請タイプ | | | |  |  |
| 項　番 | NTSC | IP-IF | HD-SDI | ｱﾅﾛｸﾞHD | 機　能 | 備　考 |
| 5.1 項 | **○** | **○** | **○** | **○** | 共通機能 | 必須事項 |
| 5.2 項 | 下記○印を申請します。 | | | | 高度機能 | 選択事項 |
| 5.2.1 |  |  |  |  | 最低被写体照度（高感度タイプ） |
| 5.2.2 |  |  |  |  | 0ルクス環境撮影機能 |
| 5.2.4 |  |  |  |  | 電源重畳 |
| 5.2.5 |  |  |  |  | ドームカメラ耐衝撃 |
| 5.2.6 |  |  |  |  | ダイナミックレンジ拡大 |
| 5.2.7 |  |  |  |  | PTZ一体型 |
| 5.2.8 |  | 対象外 | 対象外 | 対象外 | フィールド間ノイズ低減 |
| 5.2.9 | 対象外 |  | **○** | **○** | 高画素（メガピクセル） |
| 5.2.10 |  |  |  |  | 記録一体型屋外用 |
| 5.2.11 | 対象外 |  | 対象外 | 対象外 | 4K解像度 |
| 5.2.12 | 対象外 |  | 対象外 | 対象外 | 高度セキュリティ機能 |
| 5.2.13 | 対象外 | 対象外 | 対象外 |  | 同軸多重制御 |
| 5.2.14 | 対象外 |  | 対象外 | 対象外 | AI画像解析機能 |  |

・申請タイプについて：NTSC対応、IP-IF対応、HD-SDI対応及びアナログHD対応の複数の方式を申請し、「ハイブリッド」とする場合は、申請する全ての項目を満足する必要がある。

・共通機能と選択した高度機能について：各項目の技術報告書に関する測定結果・報告内容等は問題ないことを約して、代表して下記の責任者押印欄に押印します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 責任者押印等 | 上記内容を申請いたします。  測定責任者：　　　　　　　（電子入力で代用可：自筆不要） | 測定責任者  押印欄 |

**注記**　①新規申請・更新申請においては、各項目の技術報告書の責任者押印欄は空白で可とする。

②氏名・年月日欄等は電子入力で代用可能（自筆不要）。

③申請時は、朱記の補足説明は削除すること。

RBSS基準（優良防犯機器認定基準）

**RBSS　2018**

防犯カメラ認定基準 技術報告書

*【共通的な項目：1章～7章（5章は除く）】*

**1　適用範囲**（本申請における適用範囲は、下表の通りです。）

**機器品目：防犯カメラ**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 方式とタイプ等 | 適用する欄に○を記述 | 備　考 |
| (1) | NTSC対応防犯カメラ |  |  |
| (2) | IP-IF対応防犯カメラ |  |  |
| (3) | HD-SDI対応防犯カメラ |  |  |
| (4) | アナログHD対応防犯カメラ |  |  |
| (5) | カラー動画撮影方式である | **○** | カラー動画撮影方式を基本とするもの |

**注記**・ハイブリッド防犯カメラを申告する場合は、複数の方式を選択すること。

・該当しない場合は、「－」を記述（本注記内容は以下の項目も同様）。

・備考欄などの黒字注記文章は、記載時の指示事項である。記載時に消さないこと。

・朱記*（斜体文字）*記載内容は、記載時の注意事項と記載例（サンプル）である。

記載時に消すこと。記載例は適時修正して利用のこと。

**3　標準構成（申請対象のシステム構成例）**

**3.1　申請機器の標準構成**

**3.1.1　標準構成**

・本申請の構成図は、下記の構成ブロックの組合せに基づきます。以下に、代表的な記載例を示す。

**(1)NTSC対応防犯カメラ**

**・電源重畳機能非搭載**

**NTSC信号**

**レンズ構成部**

**被測定機器（NTSC対応防犯カメラ）**

**モニタ**

**（表示用）**

**推奨機器(1)（NTSC対応デジタルレコーダ）**

**組合せ電源**

**構成機器**

**注記(1)：推奨機器を必要とする場合**

**商用電源(AC100V等)**

**被測定機器の範囲**

**・電源重畳機能搭載（同軸ケーブル）**

**組合せ電源**

**構成品**

**レンズ構成品**

**被測定機器（NTSC対応**

**防犯カメラ）**

**電源重畳機能搭載**

**（専用電源重畳部）**

**モニタ**

**（表示用）**

**推奨機器(1)**

**（NTSC対応デジタルレコーダ）**

**）**

**注記(1)：推奨機器を必要とする場合**

**組合せ電源**

**構成機器**

**商用電源(AC100V等)**

**被測定機器の範囲**

**(2)IP-IF対応防犯カメラ**

**・電源重畳機能非搭載**

**IP-IF信号**

**推奨機器**

**（スイッチングハブ）**

**レンズ構成部**

**被測定機器（IP-IF対応**

**防犯カメラ）**

**IP-IF信号**

**モニタ**

**（表示用）**

**推奨機器**

**（IP-IF対応デジタルレコーダ）**

**）**

**組合せ電源**

**構成機器**

**商用電源(AC100V等)**

**被測定機器の範囲**

**・電源重畳機能搭載（PoE）　　　注(2)　PoE機能搭載は、被測定機器に含まれている**

**PoE(2)**

**機能搭載**

**レンズ構成品**

**被測定機器（IP-IF対応**

**防犯カメラ）**

**推奨機器**

**PoE対応（スイッチングハブ）**

**商用電源（AC100V等）**

**モニタ**

**（表示用）**

**推奨機器**

**（IP-IF対応デジタルレコーダ）**

**）**

**組合せ電源**

**構成機器**

**商用電源(AC100V等)**

**被測定機器の範囲**

**・ハイブリッド防犯カメラ 電源重畳機能非搭載**

**被測定機器**

**モニタ**

**（表示用）**

**推奨機器(1)**

**（NTSC対応デジタルレコーダ）**

**）**

**NTSC対応**

**防犯カメラ部**

**注記(1)：推奨機器を必要とする場合**

**レンズ**

**構成品**

**推奨機器**

**（スイッチングハブ）**

**IP-IF対応**

**防犯カメラ部**

**モニタ**

**（表示用）**

**推奨機器**

**（IP-IF対応デジタルレコーダ）**

**）**

**組合せ**

**電源**

**構成機器**

**商用電源（AC100V等）**

**被被測定機器の範囲**

**・ハイブリッド防犯カメラ　電源重畳機能搭載（PoE）注(2)　PoE機能搭載は、被測定機器に含まれている**

**被測定機器**

**組合せ電源**

**構成品**

**推奨機器**

**（IP-IF対応デジタルレコーダ）**

**）**

**推奨機器**

**PoE対応（スイッチングハブ）**

**モニタ**

**（表示用）**

**推奨機器(1)**

**（NTSC対応デジタルレコーダ）**

**）**

**モニタ**

**（表示用）**

**注記(1)：推奨機器を必要とします**

**電源重畳**

**機能搭載**

**（専用電源**

**重畳部）**

**組合せレンズ構成品**

**NTSC対応**

**防犯カメラ部**

**レンズ**

**交換型**

**商用電源（AC100V等）**

**IP-IF対応**

**防犯カメラ部**

**PoE(2)**

**機能搭載**

**商用電源（AC100V等）**

**被測定機器の範囲**

**・IP-IF対応防犯カメラの補足説明**

IP-IF対応防犯カメラにおいて画像設定情報が保持されない場合、組合せる推奨のデジタルレコーダ（あるいはPC等コントローラ）は定期的に設定信号を送出する機能を保有することが必要である。しかし、定期的に設定信号を送出する機能を保有していない推奨のデジタルレコーダ（あるいはPC等コントローラ）と組合せる場合は、被測定機器において画像設定情報を保持する機能も保有するか、あるいはその他の対策が必要である（例えば、下記例の様に電源構成品にUPSを使用する）。

**PC等コントローラ**

**PC(制御/設定・表示用)**

**推奨ネットワーク機器**

**（スイッチングハブ）**

**レンズ構成品**

**被測定機器（IP-IF対応**

**防犯カメラ）**

**組合せ**

**電源**

**構成機器**

**（UPS）**

**UPS**

**モニタ**

**（表示用）**

**商用電源(AC100V等)**

**推奨デジタルレコーダ**

**（IP-IF対応デジタルレコーダ）**

**）**

**(3)HD-SDI対応防犯カメラ　電源重畳機能非搭載**

**(HD-SDI対応デジタルレコーダ)**

**HD-SDI信号**

**レンズ構成部**

**被測定機器（HD-SDI対応防犯カメラ）**

**モニタ**

**（表示用）**

**組合せ電源**

**構成機器**

**商用電源(AC100V等)**

**被測定機器の範囲**

**(4)アナログHD対応防犯カメラ**

**推奨機器**

**（アナログHD対応デジタルレコーダ）**

**アナログHD信号**

**レンズ構成部**

**被測定機器**

**（アナログHD対応防犯カメラ）**

**モニタ**

**（表示用）**

**組合せ**

**電源**

**構成機器**

**商用電源(AC100V等)**

**被測定機器の範囲**

**(5)記録一体型屋外用　（高度機能5.2.10記録一体型屋外用を申請する場合）**

**・タイプ1　一体型（スタンドアロン型）**

□□□**（1）信号**

**被測定機器**

**（記録部）**

□□□**（1）対応記録部**

**被測定機器**

**（撮影部）**

□□□**（1）対応防犯カメラ**

**モニタ**

**（測定用）**

(2)

**レンズ構成品**

**PC等のモニタ**

**表示・記録画像の取出し用（LAN、無線LAN対応など）**

**組合せ電源**

**構成機器**

(3)

**商用電源(AC100V等)**

**ハウジング**

**被測定機器の範囲**

**・タイプ2　組合せ型**

**モニタ**

**（測定用）**

□□□**（1）信号**

**被測定機器**

**（記録部）**

□□□**（1）対応**

**記録部**

**被測定機器**

**（撮影部）**

□□□**（1）対応防犯カメラ**

**レンズ構成品**

(2)

**専用ケーブル**

**PC等のモニタ**

**表示・記録画像の取出し用（LAN、無線LAN対応など）**

**組合せ電源**

**構成機器**

(3)

**商用電源(AC100V等)**

**収納ボックス**

**ハウジング**

**被測定機器の範囲**

注**（1）**各□□□の表記は接続方式の種類により、NTSC、IP-IF、HD-SDI、アナログHDのいずれかに置き換わることを意味する。(2)と(3)の系統は、対応する信号が測定できる場合は1系統で構成してもよい。

**注記**　IP-IF対応防犯カメラ等の場合、組合せ電源構成品機器として外付けの収納ボックスからPoEなどにより電源の供給ができるものとする。PoE電源用収納ボックスは、高度機能 「5.2.10 記録一体型屋外用」の性能4の耐環境性能を満足する必要がある。

**3.2　組合せ構成機器と組合せ電源構成機器の種類（***3.2用語の意味にもとづいて下表を記載すること。）*

技術報告書総括表「申請区分」組合せ構成機器の詳細は、下表の通りです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No | 名　称 | 組合せ構成表 |
| 3.2.1 | 組合せ構成機器  (合計：　　種類) | *（交換型レンズ、ハウジング、収納ボックス、GPSなど。）* |
| 3.2.2 | 組合せ電源構成機器(合計：　　種類) | *（AC/DC電源、動作上必要なUPSなど。推奨品（SW-HUB等）は含めないこと。）* |
| 3.2.3 | 組合せ構成部品  (合計：　　種類) | *（SDカード、CFカード、USBメモリ、専用ケーブル、組合せ用販売ソフトウェア*  *及びライセンスなど。付属品や同軸ケーブル類等は含めないこと。）* |

注記　組合せ構成機器は、カタログ・取扱説明書・製品仕様書等で確認できる様、その頁を記述

すること。

【推奨機器】

本申請で関連する推奨機器の詳細は、下表の通りです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No | 名　称 | 組合せ構成表 |
| (1) | 推奨デジタルレコーダ（防犯用） | 「推奨品様式-A」を参照してください。  *（IP-IF対応防犯カメラでは、接続可能なIP-IF対応デジタルレコーダ（防犯用））* |
| (2) | 推奨スイッチングハブ | 6.4.1項において提出します。「別紙-1」を参照してください。  *（IP-IF対応防犯カメラでは、接続可能なスイッチングハブ。*  *なお、スイッチングハブの接続モジュールや評価用モニタなどは含めない。）* |
| (3) | 推奨機器との組合せ一覧 | *（推奨機器に関する資料（該当製品のカタログ・HPなど）を提出すること。*  *その資料名称と頁を記載すること。）* |

注記　推奨機器は、製品仕様書・カタログ・取扱説明書等で確認できる様、その頁を記述すること。推奨機器の記載が困難の場合は、代替措置として「公益社団法人 日本防犯設備協会ホームページのRBSS目録、または当社営業へのお問合せによりご確認ください。」の趣旨を上記書類に推奨機器の参照として記載していることも可。

**3.3　動作概要の説明**

申請する被測定機器の【動作概要の説明】は、設置環境、機能性能の特長、高度機能や電源条件などを記載してください。

①として、設置環境が屋内か屋外のいずれか、設置方法や形状の特長について『　』内に記載する。

②として、共通機能の内で特に特長としている機能を『　』内に記載する。

③として、高度機能として申請する全ての項目について、『　』内に条件などを含めて記載する。

④として、3. 2.2組合せ電源構成機器などの電源供給方式について『　』内に記載する。

【動作概要の説明の記載例】

①本申請の被測定機器は、屋内設置の用途を目的としており、『　　』の特長がある。

②共通機能の内で特に特長としている機能は、『　　』である。

③高度機能として、『電源重畳』機能（あるいはPoE機能）、『・・・』機能を保有している（注）。

④組合せ構成機器は下記の通りである。

電源部は、1台のカメラに接続できるもの、複数カメラに接続できるものが組合せでき、その

種類は3.2項に記載している。

注記 ある高度機能が他の高度機能と重複して動作した時に制約事項がある場合は、

本欄「3.3 動作概要の説明」に制約事項を明確に記載のこと。

**5　要求事項（防犯機能・防犯性能に係る内容について）**

・*5章の技術報告書については、7.3項の後にまとめて配置すること。*

**6　申告事項**

**6.1　環境試験に関する性能の申告の作成要領**

**6.3.1　性能1：法律等に適合する性能**

(1)　電気用品安全法で規定された内容を満たす試験

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **No** | **環境試験項目** | **作成要領**  *（下記に基づき作成すること）* | **試験結果** | **備　考** |
| 1 | 電気用品安全法 | 電気用品安全法の対象品ですか。  *（該当箇所に○印を記述。）*  *（参考：防犯カメラに「警報機」機能がない*  *ことから非対象と判定。）* | **[　]対象**  **[　]非対象** |  |
| 2 | 電気用品安全法  対象の場合 | 電気用品安全法で規定された内容を満たす試験を実施していること。  *（例：防犯用カメラに「警報機」機能があり対象と判定した場合、試験結果「合格」、備考覧に「PSEマーク付き」と記載。）* | **[　]合格** | *PSEマーク付き* |

(2)　 電気通信事業法に基づく総務省令「端末設備等規則」で規定された内容を満たす試験

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **No** | **環境試験項目** | **作成要領**  *（下記に基づき作成すること）* | **試験結果** | **備　考** |
| 1 | 電気通信事業法に基づく総務省令「端末設備等規則」 | 電気通信回線設備（インターネット等）に接続できる機能を有するIP使用端末ですか。 | **[　]対象**  **[　]非対象***該当箇所に○印を記述。）* | *対象の場合は2へ。*  *非対象の場合は終了。* |
| 2 | 1で対象の場合 | 技術基準適合認定を取得しているか。 | **[　]取得**  **[　]非取得**  *（該当箇所に○印を記述。）* | *取得の場合は終了*  *（適合マーク付き）。*  *非取得の場合は3へ。* |
| 3 | 2で非取得の場合 | 電気通信回線設備（インターネット等）に直接接続して使用しないように、取扱説明書等に記載していること。  　記載書類名［　　　　　　］  　記載場所［　　　　　　］頁 | **合/否** |  |

**6.3.2と6.3.3 共通事項**

自主試験の場合、判定基準ガイドラインと同等以上の試験を実施していることを示す技術報告書を提出すること。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **No** | **環境試験項目** | **作成要領***（下記に基づき作成すること）* | **備　考** |
| 0 | 自主試験の場合  （技術報告書の提出、記載例） | (1)　自主試験の実績は、下記の性能2と性能3の各項目に記載の通りです（必要に応じて技術報告書を添付します）。*（自主基準はSES等と同等以上を要件としているが、電気用品安全法 技術基準に準拠することを自主基準とする場合、RBSS認定事務局に事前確認をすること。）*  (2)　下記の性能2と性能3の各項目に、下記内容で自主試験項目を記載してください。  ①　弊社実績：社内試験規格番号｢　｣を制定し、｢　｣年の運用実績があります。  ②　試験を行っているイメージ図です（試験環境・実施状況の写真等を添付） | *自主試験の技術報告書は添付を省略し、本欄記載のみでもよい*。  *②のイメージ図は、特に提出要求があった場合でよい。* |

**6.3.2　性能2：SES E 0004-4（環境試験規格）の中から必要とする性能試験**

自主試験の場合、判定基準ガイドラインと同等以上の試験を実施していることを示す技術報告書を提出すること。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **No** | **環境試験項目** | **作成要領**  *（下記の例に基づき作成すること）* | **試験方法** | **試験結果** | **備　考** |
| 1 | 耐熱性 | *環境試験を行なった試験条件、等級及び判定基準を記述すること。*  *（記載例）SES E 0004-4の場合*  【屋内機器】  ・試験方法：「4.1.1高温（耐熱性）」項  ・等級：1（40℃±2℃、2h放置）  ・判定基準：動作に異常がないこと  【屋外機器】  ・試験方法：「4.1.1高温（耐熱性）」項  ・等級：（50℃±2℃、2h放置）後  ・判定基準：動作に異常がないこと | **SES/自主** | **合/否** | *RBSS基準より厳しい等級を採用した時は、「RBSS基準より厳しい条件で確認しました。」等を記述すること。* |
| 2 | 耐寒性 | *（記載例）SES E 0004-4の場合*  【屋内機器】  ・試験方法：「4.1.2低温（耐寒性）」項  ・等級：（0℃±3℃、2h放置）  ・判定基準：動作に異常がないこと  【屋外機器】  ・試験方法：「4.1.2低温（耐寒性）」項  ・等級：3  ・判定基準：動作に異常がないこと | **SES/自主** | **合/否** | *同上* |
| 3 | 供給電源電圧変動**(1)** | *（記載例）SES E 0004-4の場合*  ・試験方法：4.2.1**.**1項  ・等級：1  ・判定基準：異常がないこと | **SE/自主** | **合/否** | *同上* |
| 4 | 絶縁抵抗**(1)** | *（記載例）SES E 0004-4の場合*  ・試験方法：5.2.2項  ・等級：500V絶縁抵抗計にて1MΩ以上）  ・判定基準：異常がないこと | **SES/自主** | **合/否** | *同上* |
| 5 | 絶縁耐圧**(1)** | *（記載例）SES E 0004-4の場合*  ・試験方法：5.2.1項  ・判定基準：異常がないこと | **SES/自主** | **合/否** | *同上* |
| 6 | 正弦波振動 | ・試験方法：4.3.1項  ・等級：2  ・判定基準：動作に異常がないこと | **SES/自主** | **合/否** | *同上* |

**注(1)**試験を省略した場合、その理由を記載すること。

電源重畳型は電源部と一体で測定することが必須である。但し、AC電源分離型とPoE電源について、被測定機器の試験は省略をすることが可能である。

**6.3.3　性能3：RBSS機器としての追加性能試験**

自主試験の場合、判定基準ガイドラインと同等以上の試験を実施していることを示す技術報告書を提出すること。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **No** | **環境試験項目** | **作成要領**  *（下記の例に基づき作成すること）* | **試験方法** | **試験結果** | **備　考** |
| 1 | 瞬時停電性能**(1)** | *環境試験を行なった試験条件、等級及び判定基準を記述すること。*  *（記載例）SES E 0004-4の場合*  ・試験方法：「4.2.5耐電圧変動性（耐瞬時停電性）」項  ・試験レベル：上記試験の後で評価  ・判定基準：動作に異常がないこと | **SES/自主** | **合/否** |  |
| 2 | 静電気放電イミュニティ**(1)** | *（記載例）SES E 0004-4の場合*  ・試験方法：「4.2.4静電気」項  ・試験レベル：等級2  ・判定基準：動作に異常がないこと | **SES/自主** | **合/否** |  |
| 3 | サージイミュニティ（雷サージへの対応性能）**(1)** | *（記載例）SES E 0004-4の場合*  ・試験方法：「4.2.2電気スパイク」項  ・試験レベル：等級2  ・判定基準：動作  に異常がないこと | **SES/自主** | **合/否** |  |
| 4 | 耐雨 | *（記載例）SES E 0004-4の場合*  ① 試験方法：**「**4.4防水試験」項のJIS C 0920:2003［電気機械器具の外郭による保護等級（IPコード）］に規定する防水試験  ② 防水の保護等級：（例：IPX6）  （等級は問わない）  ③ 判定基準：動作に異常がないこと  試験報告書の提出は不要だが、IPコードの第二特性数を明示した書類があること。 | **SES/自主** | **合/否** | *取扱説明書、カタログ、仕様書等の該当ページを記載すること* |

**注(1)**試験を省略した場合、その理由を記載すること。

・電源重畳型は電源部と一体で測定することが必須である。但し、AC電源分離型とPoE電源について、被測定機器の試験は省略をすることが可能である。

**6.4　スイッチングハブに関する申告事項**

**6.4.1 推奨スイッチングハブの申告方法**

(1) **申請機器に接続する推奨スイッチングハブの一覧**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **No** | **作成要領***（下記に基づき確認した内容を作成すること）* | **確認結果** | **備　考** |
| 1 | 推奨スイッチングハブの一覧の提出をします。  ・「別紙-1」を参照してください。 | **合/否** | *対象：IP-IF対応防犯カメラとハイブリッド防犯カメラのみ。* |

**注記：**「別紙-2」は各社において保管（RBSS審査会議からの要請があれば提出は必要）。

**7　構造・表示**

**7.1　構造**

構造は、次の項目を確認しています。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **No** | **構　造　作成要領***（下記に基づき確認した内容を作成すること）* | **確認結果** | **備　考** |
| 1 | 接続は、極力誤接続できない構造としており、誤接続に対する具体例は下記の通りです*（下記の記載例を参照）*。このような構造が取れない部分については、取扱い説明書等に注意書きを貼付しています。  *（具体例：接続コネクタ形状を変える、配線の色分けがある、端子名表示がある等。）*  1：異なる機能の接続コネクタは、サイズや種類を変更しています。  2：BNCコネクタ等入出力端子で共通のものは、端子名称を表示しています。  3：2の場合、万一、誤接続されても破損しない回路方式として対策をしています。 | **合/否** | *当該部分の図示説明が必要な場合は、取扱説明書／メンテナンス説明書の抜粋（該当頁を記述）を添付すること。* |
| 2 | 保守点検（維持管理）がしやすい構造は下記の通りです*（下記の記載例を参照）*。消耗部品の交換時期をうながす注意書きがあること。  1：固定ネジの締付け状態（取付け用）が確認しやすい。  2：接続ケーブルの状態（接栓の接触状態）が確認しやすい。  3：カメラレンズの汚れが清掃しやすい。  4：目的の被写体の画角から外れていた場合、画角の修復ができる。 | **合/否** | *提出資料（取扱説明書等）の該当頁を記述すること*  *・記載例4についは、実現ができる構造であることでよい。* |
| 3 | 取り付けに方向性を有する機器です（取扱説明書等に設置方向を表示）。  ・取扱説明書：　　頁　　行を参照  （又は、工事説明書：　　頁　　行を参照） | **合/否** | *提出資料（取扱説明書等）の該当頁を記述すること。* |

**7.2　本体表示**

本体には、次の項目を見やすいところ**注(０)**に表示していることを確認しています。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **No** | **作成要領***（下記に基づき確認した内容を作成すること）* | **確認結果** | **備　考** |
| 1 | 製造業者名又は輸入業者名 | **合/否** |  |
| 2 | 品名・品番 | **合/否** |  |
| 3 | 製造年月又は製造番号 | **合/否** |  |
| 4 | 定格（定格電圧、定格電流又は定格消費電力、定格周波数） | **合/否** | *電源重畳機能は、電源部の表示でもよい。* |
| 5 | PSEマーク　**注(1)** | **合/否** | *非該当は「－」* |
| 6 | 主銘板（申請型式）の表示内容が判るコピーを添付します。  *（電源重畳方式の場合は、本体と組合せ電源構成品の全ての写真を添付すること。）* | **合/否** | *写真又は主銘板内容が記載されたカタログなどのコピーを添付すること。* |

**注(０)** 製品として見やすいところ。外部／内部いずれでも可（内部の場合には表示場所を記載のこと）。

**注(1)**　電気用品安全法に規定する表示（電気用品安全法の対象の場合）

**7.3　説明書などの表示事項**

取扱説明書・取付説明書とカタログ・ホームページなどの表示事項は、表1の各欄に○印を記述した通りです。*（注記　基準の表1の左欄****「○」****については必須として、ドラフト案を含めた申告を記載すること。）*

**表１　表示事項の該当一覧表**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **項　目** | **取扱説明書・取付説明書などの表示事項** | | **カタログ・ホームページなどの表示事項**  **（製品仕様書含む）** | | **備　考** |
|  | **表示基準** | **申告** | **表示基準** | **申告** | *下記****※1****の箇所は、該当ページを本備考欄に記載のこと。* |
| (1)　品名・品番 | **○** |  | **○** |  | <7.2で確認> |
| (2)　各部名称 | **○** |  | **－** |  |  |
| (3)　機能、主な仕様 | **○** |  | **○** |  | <3.3で確認> |
| (a)　定格・性能など（定格電圧、定格電流又は定格消費電力、定格周波数）**(1)** | **○** |  | **○** |  | <7.2で確認> |
| (b)　防水性能  （屋外設置が可能な場合） | **○** |  | **○** |  | **※1**  IPコードなど |
| (c)　使用温度範囲 | **○** |  | **○** |  | **※1** |
| (4)　操作方法・設定方法 | **○** |  | **－** |  |  |
| (5)　組合せ方法（必須構成品） |  |  |  |  | *必要とする場合* |
| (a)　 組合せ構成機器 | 記載が望ましい |  | **○** |  | <3.2.1で確認> |
| (b)　 組合せ電源構成機器 | 記載が望ましい |  | **○** |  | <3.2.2で確認> |
| (c)　 組合せ構成部品 | 記載が望ましい |  | **○** |  | <3.2.3で確認> |
| (6)　組合せ推奨品 |  |  |  |  | *必要とする場合* |
| (a)　推奨デジタルレコーダ（防犯用） | 記載が望ましい |  | **○** |  | <3.2(1)で確認>  *（製品仕様書に推奨品一覧表で可。）* |
| (b)　推奨スイッチングハブ | 記載が望ましい |  | **○** |  | <6.4.1で確認>  *（製品仕様書に推奨品一覧表で可。*） |
| (7)　取付方法、配線方法**(6)** | **○** |  | 記載が望ましい |  | <7.1(1)で確認>、  *特に、記録一体型防犯用の場合、設置条件（高さ）、施工方法の記載が必須。* |
| (8)　取扱注意事項 | **○** |  | **－** |  | <7.1(1))で確認> |
| (9)　保守・点検方法 | **記載が望ましい** |  | **－** |  | <7.1(2)で確認> |
| (10) 不具合などのトラブル  に対する対策法 | **○** |  | **－** |  | **※1** トラブルシューティングなど |
| (11) 免責事項**(2)** | **－** |  | **○** |  | **※1** 防犯事項について |
| (12) その他 |  |  |  |  |  |
| (a) その他(3) | **○** |  | **○** |  |  |
| (b) RBSSマークについて(4) | **－** |  | **○** |  | **※1**RBSSマーク説明、型式近傍表示 |
| (c) ローリングシャッターについて(5) | **○** |  | **記載が望ましい** |  | **※1** |
| (d)　性能維持に必要な補修パーツの最低保有期間(7) が記載された書類 | **○※** |  | **○※** |  | 最低保有期間7年  ※取扱説明書など、またはカタログ・ホームページなどのどちらかに記載 |
| (e)　個人情報の取扱いに関する注意事項 (8) が記載された書類 | **○** |  | **－** |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| **注(1)** | 電気用品安全法に規定する表示 |
| **注(2)** | 免責事項の例：RBSS機器認定の適合商品について  （カタログや取扱説明書などに記載する例）  【本製品は、犯罪抑止等を意図して製作された商品ですが、犯罪の防止・安全を完全に保証するものではございません。万一被害など発生致しましても、当社は責任を負いかねますのでご了承下さい。】  【RBSS認定製品は、RBSS基準の共通機能に全て適合しています。適合する高度  機能は、（公社）日本防犯設備協会ホームページでご確認いただけます。  https://www.ssaj.or.jp/→目録参照】 |
| **注(3)** | その他の例：問合せ窓口（住所、部署名、電話、FAX、受付時間など） |
| **注(4)** | RBSSマーク表示場所の例：  ①　RBSSマークは、製品カタログの認定型式が明確に判るように、認定型式の周辺に表示を必ず行うこと。  ②　さらに「RBSSマークの説明」  ③**注(2)** で示した「RBSS認定品に関する免責事項」  を任意のページの一ヶ所に必ず表示することを原則とする（但し、HPについては、当面「記載が望ましい」範囲として取扱う）。 |
| **注(５)** | ローリングシャッター方式搭載カメラの例：CMOS撮像素子を使用したローリングシャッター方式の防犯カメラは、旋回台に搭載したり、大きな画角で動く被写体を撮影する場合に、建物の柱や被写体が大きくゆがみ、実際とは大きく違う画像が出力される。  **※**取扱説明書などに、実際と大きく異なる画像が出力されることを明示すること。 |
| **注(6)** | 工事説明書があり、設置条件（高さ等）、施工方法等の記述があることを条件とする。特に高所設置に関する記述内容が適切であること。 |
| **注(７)** | 資格審査基準では、性能維持に必要な補修パーツの最低保有期間を7年以上としている。 |
| **注(8)** | 注意事項の記載項目：  ・本人が判別できる映像情報は、「個人情報」に該当すること。  ・「個人情報」である映像情報は法律に従って適正に取り扱う必要があること。  ・機器を譲渡・廃棄される場合、記憶媒体に記録された情報が「個人情報」に該当する場合があるので、取扱いに十分注意する必要があること（記録可能なカメラの場合）。 |

*【5章に係る項目：別冊の技術報告書 様式に基づいて記載すること。】*

**5　要求事項（防犯機能・防犯性能に係る内容について）**

**5.1　共通機能と5.2　高度機能　に関する技術報告書　作成要領**

要求事項である「共通機能（必須事項）」と「高度機能（選択事項）」の記載様式は、「防犯カメラ認定基準書　別冊」に対応する各項目の技術報告書（例：記載サンプル）等を参考に記述すること（技術報告書の記載様式は、当協会HPからダウンロードができます。）

**【**項目別の作成要領の注意点**】**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **No** | **項　目** | **作成要領***（下記に基づき作成すること）* | **備　考** |
| 1 | 測定日 | 測定日を具体的に記述すること。 | 最大12ヶ月以内 |
| 2 | 会社名、所属部署、測定者 | 記載内容の漏れが無いように記載すること。 | 電子入力を可とする。 |
| 3 | 分類、項目 | 記載内容の漏れが無いように記載すること。 |  |
| 4 | 被測定機器の選択 | 本欄がある場合は、申請するものを□欄にチェックすること |  |
| 5 | 機能の選択 | 本欄がある場合は、申請するものを□欄にチェックすること。（複数選択もあるので、その時は下表の該当する機能欄に対応し記述すること。） |  |
| 6 | 測定系統図 | 測定系統図の構成ブロック等を判り易く記載すること。 | 参考：記載サンプル |
| 7 | 測定器一覧  （申告記載は年月でも可） | 測定系統図の構成ブロック等に対応した測定器をすべて記載し、測定器の校正年月（計測計量法に基づく自主基準とする）や購入年月もすべて記載すること。 | 購入年月は、モニタ、測定ソフトウェア等が該当する。 |
| 8 | 添付資料 | 別紙の添付資料番号を付記し、資料の有無を記述すること。特に、機能に関する技術解説が要求されている場合は、必ず添付すること。 | 技術解説は、最終頁様式を参考に作成すること。 |
| 9 | 総合評価 | 合格／不合格のうち、合格であれば○印をすること。 |  |
| 10 | 機能 | 要求事項に基づいた内容を記述すること。（特に「機能の選択」欄がある場合は、複数選択もあるので、該当する機能欄に対応し記述すること。） |  |
| 11 | 性能 | 要求事項に基づいた内容を記述すること。（数値等は、要求条件に基づく有効桁数とし、特に指定が無い場合は一般的な桁数とすること。） | 測定台数は複数台とし、その下限値の記述を原則とする。 |
| 12 | 機能表示書類 | 必要とされる提出書類を選択し、さらに提出書類の機能に関する頁の指示を行うこと。 | 複数ページに記載している場合は、代表的な頁で可とする。 |
| 13 | 仕様書、  取扱説明書、HP掲載 | 提出書類に機能に関する頁の指示を行うこと。 | 複数ページに記載している場合は、代表的な頁で可とする。 |
| 14 | 責任者押印等 | ① 測定責任者の記述があること。  ② 測定責任者押印欄に押印すること（注意）測定責任者押印欄の押印については、技術報告書総括版の代表押印でも可とする。その場合の各報告書の本欄は空白とする。 | ① 電子入力を可とする。② 特に、変更申請等の場合は個別の技術報告書に押印すること。 |

*・5章について「技術解説資料による補足説明」が必要な場合、「変更申請」の変更前後の説明に、*

*本様式を参考すること。*

*（申請者提出用様式（例）　技術解説資料　記載サンプル）*

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 技術解説資料　　　【型式　　　　　　　　　　　　　】　　　　　　　記入日 | | 年　月　日 | |
| 会 社 名：  所属部署：  測 定 者： | | | |
| 分　類  項　目 | **5.＊ 　　□□□□□□□□**  **5.＊.＊ 　□□□□□□□□** | |  |
| 技術解説の名称 |  | |  |
| 技術概要 | 特徴  (1)  (2)  (3)  (4)  (5)  例：本欄には、独自方式等の特徴を箇条書きに記述してください。 | |  |
| 技術解説・工夫している要点等 | 独自方式・・・・・の要点  (1)  (2)  (3)  (4)  (5)  例：本欄には、独自方式等で技術解説する論理的な動作、機能及び工夫している要点等を箇条書きしてください。 | |  |
| 実機評価・測定結果による確認結果 | (1)　実機による評価・判定方法  (2)　測定結果  例：本欄には、独自方式等の評価・判定方法や測定結果（具体数値等）を箇条書きしてください。 | |  |
| 責任者押印等 | 上記内容を申請いたします。  責任者：　　　　　　　　　（電子入力で代用可：自筆不要） | |  |

**注記**氏名・年月日欄等は電子入力で代用可能（自筆不要）。

**推奨品様式**-A

**申請型式「防犯カメラ」に対応する「推奨品について」**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | | 記入日 | | | | 年　　月　　日 |
| HP掲載 企業名 | | |  | | | | |
| 申請型式  （防犯カメラ） | | |  | | | | |
| 【推奨品　デジタルレコーダ　一覧表】 | | | | | | | |
| ・下記には、上記の認定型式に対応した推奨品を記載しています。 | | | | | | | |
| **No.** | **型式の種類** | **メーカ名** | | **型式（品番など）** | **確認時期** | **備　考**  **オプションなど(1)** | |
| 1 |  |  | |  |  | 高度機能：  高画素に対応 | |
| 2 |  |  | |  |  |  | |
| 3 |  |  | |  |  |  | |
| 4 |  |  | |  |  |  | |
| 5 |  |  | |  |  |  | |
| 6 |  |  | |  |  |  | |
| 7 |  |  | |  |  |  | |
| 8 |  |  | |  |  |  | |
| 9 |  |  | |  |  |  | |

**注(1)**推奨機器とするためにオプション類が必要な場合は、その型式（品番など）を記入。

**推奨スイッチングハブ一覧**

**別紙**-1

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 技　術　報　告　書【管理番号　　　】　　　　　　　　　　　　　　記入日 | | | | | | | 年　月　日 |
| 申請会社 | | 会社名：  所属部署：  責任者： | | | | | |
| 【推奨スイッチングハブ】 | | | | | | | |
| *一覧には、通常使用するスイッチングハブの推奨機器を申告すること。*  *（但し、ネットワーク「基本構成」として必要である「スタンドアロンスイッチ」は、記載が必須）。* | | | | | | | |
| **No.** | **機器名称** | | **メーカ名** | **型式（品番など）** | **確認時期** | **オプションなど(1)** | |
| *例* | *PoE給電対応L2ｽｲｯﾁ* | | *日立電線（株）* | *ApresiaLight216T-PoE* | *2010/xx/xx* | *－* | |
| *例* | *L2　PoE給電ｽｲｯﾁ* | | *ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ電工ﾈｯﾄﾜｰｸｽ（株）* | *Switch-M5eGPWR+*  *（PN28059）* | *2010/xx/xx* | *1000BASE-SX SFP*  *ﾓｼﾞｭｰﾙ（PN54021）* | |
|  |  | |  |  |  |  | |
|  |  | |  |  |  |  | |
|  |  | |  |  |  |  | |
|  |  | |  |  |  |  | |
|  |  | |  |  |  |  | |
|  |  | |  |  |  |  | |
|  |  | |  |  |  |  | |
|  |  | |  |  |  |  | |
|  |  | |  |  |  |  | |
|  |  | |  |  |  |  | |
|  |  | |  |  |  |  | |
|  |  | |  |  |  |  | |
|  |  | |  |  |  |  | |
|  |  | |  |  |  |  | |
|  |  | |  |  |  |  | |
|  |  | |  |  |  |  | |
|  |  | |  |  |  |  | |
|  |  | |  |  |  |  | |
|  |  | |  |  |  |  | |
|  |  | |  |  |  |  | |
|  |  | |  |  |  |  | |
|  |  | |  |  |  |  | |
|  |  | |  |  |  |  | |
|  |  | |  |  |  |  | |
|  |  | |  |  |  |  | |
|  |  | |  |  |  |  | |

**注(1)**推奨機器とするためにオプション類が必要な場合は、その型式（品番など）を記入。

【改正等の履歴】改正・追加・訂正・削除などの履歴（2023年9月1日改正以降）

(2)　2024.4.1改正RBSS 0002-10を作成

　・技術報告書総括表に「5.2.14 AI画像解析機能」を追加

　・7.3 説明書などの表示事項 表1(12)(e)に「個人情報の取扱いに関する注意事項が記載された書類」、及び注(8)を追加

(1)　2023.9.1改正RBSS 0002-9を作成

　・6.3.3性能3No4耐雨の作成要領②③を変更、及び備考欄に追記した。

　・7.2本体表示に注(0)を追加した。

・7.3説明書などの表示事項の表1(12)(d)を追加した。